

令和 3 年度 富山市通学区域審議会  
第 6 回審議会における審議とりまとめ（案）

I 八尾・山田地域

—ポイント—

- 通学時の負担や発達段階を踏まえ、中学校を先に統合することも考えられるのではないかと。小学校についても、少子化が進めばいずれ再編を検討していかなければならない。
- 各学校で行われている特色ある教育をどのように引き継いでいくのかという構想を示すことが必要である。
- 原案はいずれも妥当である。その上で、小学校と中学校で再編の時期を分けて考えることや、丁寧な説明をすることが大切ではないか。

1 特色ある教育について

- 山田地域は、数字を見ると決断が必要かとも思うが、地域の中で子どもたちを育む実践の途上であり、将来こうなるということを具体的に示していかなないと、地域の理解は得にくいのではないかと。〔学識経験者〕
- パブリックコメントでは、子どもが書いたと思われる意見があった。子どもの意見も聞いてはどうか。〔PTA 代表者〕
- 目先のことを考えると、再編への拒否反応があるので、近くの学校と ICT を通じて授業をするといった、つながって学び合うことの意義を説明することが大切ではないかと。〔学識経験者〕
- 特色ある教育活動は統合後もぜひ継続してほしいが、一時的な活動の方が多く、日々の授業でよりよい教育環境を提供していくことが非常に大事であると思う。小学校の再編は慎重に進めていく必要があると思うが、中学校はできるだけ早く、色々な経験のできるよりよい教育環境を提供するのがよいと思う。〔学識経験者〕

## 2 中学校の統合の必要性について

○一定の規模の集団の中においては、授業の中で多面的、多角的な見方や考え方に会ったり、体育大会、合唱コンクール、部活動などで自分の役割をこなして様々な経験をしたり、目標となる子どもたちと出会ったりする可能性は高くなると思う。中学生の青年前期という発達段階を踏まえると、小学校と中学校を分けて考えるのがよいと思う。 [学校関係者]

○小学校低学年の通学時の負担やふるさと教育という観点から、近くに学校があるのは望ましいが、一方で、技術革新により急速に変化する社会、予測困難な時代においては、小学校であっても、様々な価値観の先生や友達と協働的に学んだり活動したりすることは不可欠である。子どもたちの資質能力を育てるという観点においては再編原案は妥当であり、少子化が進むようであればいずれ、どのような教育環境を提供すべきか考えていかなければならなくなると思う。 [学校関係者]

## 3 通学距離・通学時間について

○パブリックコメントでは、バスの乗車時間が長くなると、勉強時間の確保や車酔い、トイレについて不安があるという意見があった。トイレ休憩をとるなど、配慮が必要である。 [学識経験者]

## Ⅱ 婦中地域

### —ポイント—

- 危険が想定される通学路もあり、児童の安全確保について、慎重に検討する必要がある。
- 様々なニーズの子どもを受け入れる拠点について、再編と併せて検討してはどうか。
- 適正規模の観点から原案から除外した案についても、保護者や地域の実情を考慮しながら、広く検討していくことが望ましい。

### 1 通学路の安全確保について

- 朝日地区から速星小学校への通学に想定される通学路のうち、井田川を渡る橋には歩道がなく、付近に工場があることから交通量が多いため、小学生が歩くには危険である。〔P T A代表者〕

### 2 幅広い選択肢の検討について

- 朝日小学校と鵜坂小学校の統合は大規模校になるため原案から除外されているが、朝日地区には鵜坂小学校に近い場所もあるので、選択肢として検討してもいいのではないかと。〔学識経験者〕

### 3 小規模特認校について

- 朝日小学校は平成29年に小規模特認校となっており、他地域からこの仕組みを利用して児童を受け入れていることもあって児童数が増加してきており、児童数の推計から複式学級の解消も見込まれる。一定のニーズがあるのではないかと。〔P T A代表者〕
- 小規模特認校は、少人数で地域の方や地域の文化に触れ合って活動ができるというものであり、様々なニーズの子どもを受け入れる拠点校の必要性については、再編と併せて検討していくとよいのではないかと。〔学校関係者〕